

科目番号	BA209				
科目名	森林地質学				
担当教員	荒木 繁幸((一社)関西地質調査業協会 元理事長) 金子哲朗(森林大学校専任教員)ほか				
科目区分	森林生態学	人材養成の方針	◎即戦力	◎リーダー	地域貢献
対象学年	2年		授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	◎10～12月	1～3月	単位数
授業時間数	8		コマ	(16 単位時間)	
実務経験のある教員による授業科目	○	左の実務経験の内容	地質調査会社での地質調査等		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—	左の実務経験の内容	—		
実務経験を活かした授業内容	地質調査会社での地質調査、山地災害の対策工事の測量、設計に従事した経験を活かし、山地災害が発生しやすい地形、地質を見極め、適切な対応をとるための基礎知識を教える。				

目的	森林の成立要件が地形、地質と関わりが深いことを学び、森林ごとに適した施業や管理の方法を考えられる力を養う。
概要	母岩となる岩石の分類や風化、地質図の読み方など、地質学的アプローチから森林の成り立ちについて論ずる。
キーワード	①県内外の地形地質、②地質図の読み方、③地質調査の方法
関連する科目	森林生態学、造林学、樹木学、森林土壌学、作業道作設理論
到達目標	○ 森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	○ 森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	レポート50%、出席・態度50%

授業計画	テーマ	講義内容
1	地球の構造と日本列島	・地球の営みについて ・日本列島の成り立ちについて ・火山フロストについて
2	兵庫県の地質	・近畿の地質について ・兵庫県の地質について
3	山や平野の成り立ち	・プレート境界型地震と内陸直下型地震について ・沖積層(平野部の地層の見方) ・地形の微妙な変化(微地形判読)
4	山地災害	斜面崩壊/地形・地質の斜面安定/土質・岩質と斜面崩壊/岩盤の風化・変質と斜面崩壊/地質構造と斜面崩壊/崩壊形態の分類/阪神淡路大震災や熊本地震の斜面災害/兵庫県、広島県、九州北部の豪雨災害
5	地質調査の方法	現場で役立つ地質調査の手法と宍粟市周辺の地質について
6	地質図の読み方	地質図とは/地質図の読み方について/地質図の基礎知識について
7～8	まとめ	森林地質学まとめ(到達度レポート確認)

テキスト	講師作成テキスト
参考書	図説 森林土木と地形・地質(牧野道幸、(社)日本治山治水協会、2013)

関連する資格	
備考	